

# はじめに

田原坂46、岩見沢友紀です。

今回の本は、シリーズ漫画「雲よ、伝えて！～明治報道奮戦記～」の  
スピンオフ作品ですが

一応、独立した読み切りとして描いています。

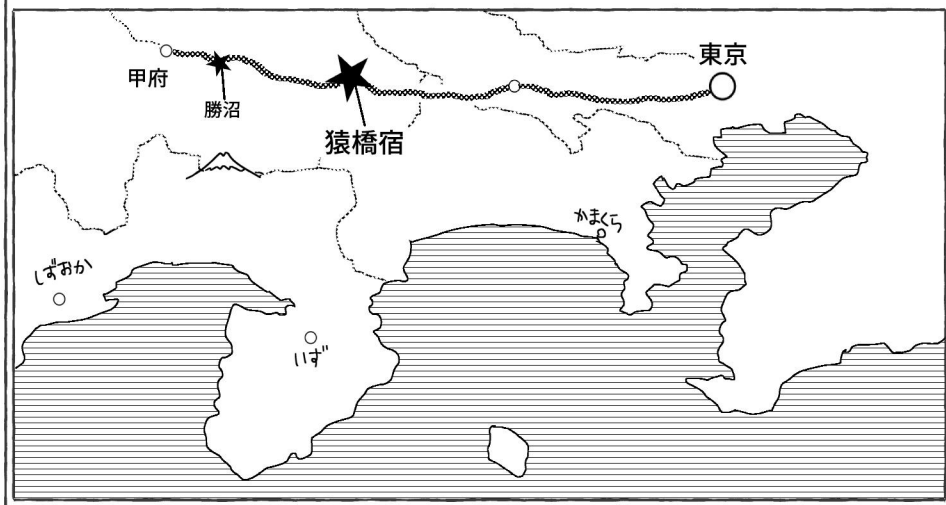
横浜新事日報のあの編集長、真殿智明氏の10年前のお話です。

本編の主人公、真殿(坂上進太郎)は架空の人物です。

板垣退助、土方歳三、斎藤一など歴史人物が登場しますが

「この作品はフィクションです」という歴史創作のいつものそれで  
よろしくお願いします。

今回のお話の舞台は…甲州街道。



いやはや  
「讒謗律」  
とはいえ

政府への不満を  
新聞に書いた  
だけで逮捕では  
何人捕まるやら

大変な目に  
遭うたな

これから  
どうするね？

明治十年・横浜

ワシは  
土佐へ…

板垣さんの  
ところへ行く

板垣さん…

あれは十年前

ワシがまだ  
「坂上進太郎」  
だった頃だ――

何とか  
言って  
下さい！

もう三十近い  
のに嫁も  
もらわず！  
遊んで  
ばかり

ワシは  
養父の金を  
くすねては  
博打に  
明け暮れたり

西の外れの  
旭村にある  
廓<sup>くわく</sup>に出入り  
してたりした

「毎日会えなきや  
死にます！」  
なんてさ！

菊乃はあれ  
絶対おれに  
本気だよね！

な  
進ちゃん！

でっ♡

はー

なーんも

面白う  
ないちや



土佐藩は  
日常茶飯な  
イジメと  
見て見ぬふり

それも  
「下土のくせに  
馬に乗った」  
「日傘を使った」  
「目が生意気」など  
訳わからん理由…

知らん  
関わり

貧しいやつは  
ひたすら貧しく  
くだらないやつは  
威張りくさる

おまけに  
地震だ台風だ  
虎狼痢だ  
辻斬りだ…

こんなクソみたいな  
世の中…  
先のことなんか  
知るかぜよ



これ  
見て!

進ちゃん  
ちよつと!

ところが…  
急に世間に「風」の  
ようなものが  
吹いてきていた



慶應三年秋  
大政奉還の  
その後だった

いつものやつ…



面白そう  
やき!  
行ってみん?

乾さんが  
隊士を募集  
しゆうがよ!



何だ  
こりゃ



は?

まあ単に  
刺激を求めて  
入ったのかも  
しれなんだが



そんな  
言うちよん  
けど!

ほんまは  
怖いがやろ?



戦は  
面倒くさい  
ちや…

慶應四年の  
年明け

俺は初めて  
「乾退助」に  
会った

そこは  
新入りか？

は、  
暇つぶしで  
来ちゃった  
だけやき！

ちょ  
進ちゃん！

そうか  
そうか

なら大いに  
暇をつぶせ！



俺はこの国の



ま…なまじ  
大政奉還など  
してみた処で  
どうせ薩長が  
もっていくだろ

そいやき  
ちよいと  
手伝うて  
くれ！

全部ぶっ潰す？  
正気かよ…

もしかして  
俺より  
バ力がいた？

それじゃ今と  
変わらんき！  
俺は専制政治  
自体をぶっ壊す

砂山を  
崩すんじゃ  
ないんだぞ？  
ヤバすぎだろ

でも…

何だ  
これ…

心の臓が  
ドッキドキ  
いうちよる…！

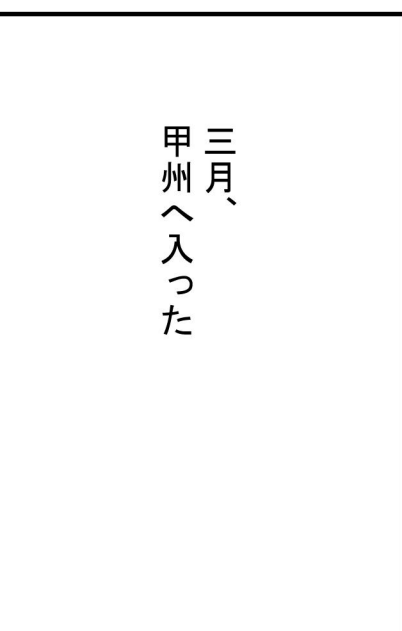
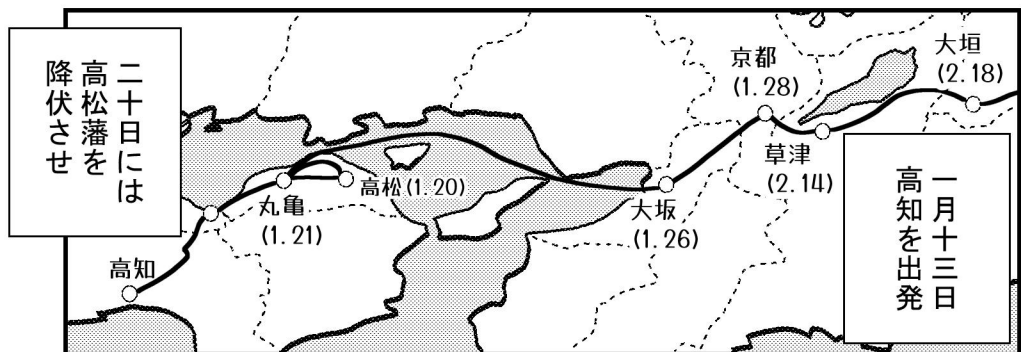
ドキ

ドキ

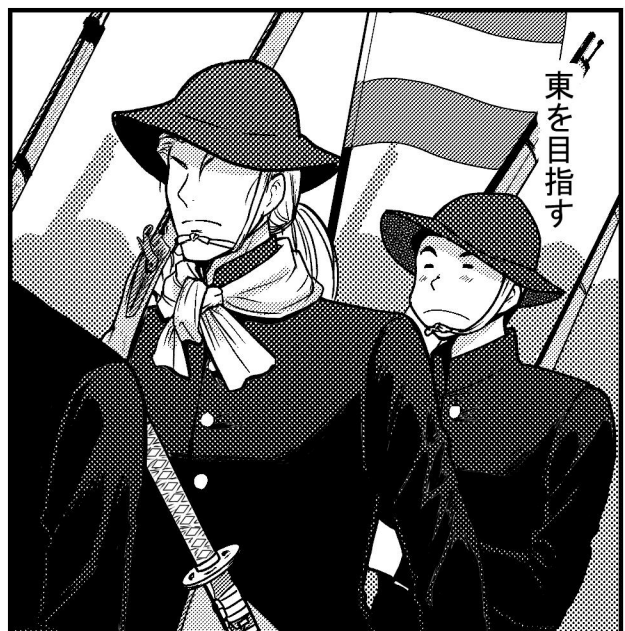


まずは幕府を  
完全にぶっ潰す！

乾退助に集った  
「迅衝隊」の  
約六百名は――



三月、  
甲州へ入った



東を目指す





敵の大砲の  
数次第  
ですかね…

うーん

誰か…



やめた方が  
いいですよ！

乾さん  
坂上は…

不真面目で  
全くやる気ない  
遊び人だし！

右半大隊司令  
片岡健吉



その！  
ちよつと



はっはっは



坂上  
お前は

今から  
幕府軍に  
入れ！



「不真面目な  
遊び人」ね

なら  
これ以上の  
適役はおらん！